

笑う門にはごはんがある

郷ノ浦中学校二年 長岡 美桜

「みんな晩ご飯できたよ！」

いつもこのかけ声が聞こえると家族がそれぞれ  
その部屋から一つのテーブルに集まり、笑  
顔がこぼれます。私はこの時間が一日の中で  
一番好きです。そして私はのちにこの家族み  
んなで食卓を囲むことの大切さに気づかされ  
ることになるのです。

私の家族は六人家族で父は自営業、母は保  
健師をしています。二〇一九年十一月末頃に  
新型コロナウイルス感染症が発見され、私は  
そのニュースをテレビで見っていました。その  
ときは「どうせたいしたことないだろうし、  
私たちに影響はない」と思っていたのですが、  
気づけば日本でも流行し、とうとう私の住ん  
でいる市でも感染者が出ました。それから母  
は朝早くから家を出て夜遅くまで仕事をし、  
深夜に帰ってくる日々が続きました。父は母  
が忙しい分、仕事をした上に家事をすること

が増え、私たち姉妹の塾や習い事の送迎まで  
してくれました。私や妹は何日も母に会えず  
不満や悲しみが溜まり、私たち家族は元気を  
なくしていきました。そんなときにいつも私  
たちの心に光を灯してくれた存在が「ごはん  
でした。家族みんなが揃わない日もあつたけ  
れど、誰かと一緒に食卓を囲むだけで嫌なこ  
とも忘れられ、温かいごはんに元気をもらえ  
たと感じます。世の中にはいろいろな「個食  
といわれるものがありますが、やはり一人で  
ごはんを食べるより「同じ釜の飯を食う」と  
いう言葉のように誰かと一緒に食事をするこ  
とやコミュニケーションをとれることの幸せ  
を大切にしていきたいと感じました。

世界全体で新型コロナウイルスの流行によ  
り不安を抱え、後ろ向きになっている人、そ  
の不安から差別やいじめを起こして不安を和  
らげようとしている人などが増えてきました。  
そんなご時世だからこそ今、皆さんに伝えた  
いことがあります。それは誰かと一緒にごは

んを食べることがどれだけ幸せで大切かとい  
うことです。豪華であるとか質素であるなど  
も関係ありません。誰かとおいしくごはんを  
食べられることが幸せなのです。

最近子どもから大人まで忙しい家庭も少  
なくはないと思います。しかし家族が一つの  
テーブルに集まり食卓を囲む意味を多くの人  
に今一度考えてみてもらいたいと考えます。  
そして、たくさんの人々にごはんのすばらし  
さを知ってもらえたら世界中が笑顔でいっぱ

いになれると思います。

「笑う門にはごはんがある」、今日も我が家  
はほかほかごはんとして幸せいっぱい笑顔大盛り  
です。